

# 資料 地域の概況

## 第1節 自然環境

### 1 地 形

当地域は、兵庫県の区域のうち県南部に位置する区域で、東は大阪府と隣接し、南大阪湾、播磨灘に面している。当地域の東部は、大阪湾に注ぐ武庫川、猪名川が貫流し、北摂山地及び六甲山地に囲まれた大阪平野が広がっている。中央部は、平均海拔約500mの六甲山系が東高西低の傾きをみせながら約30km連なり、市街地は大阪湾との間で東西に長く形成されている。西部は、播但山地に源を發した加古川、市川、揖保川が播磨灘に注ぎ播磨平野を形成している。当地域の面積は、約1,405km<sup>2</sup>で県面積の約17%である。

### 2 気 象

気象は、一般に温暖で、瀬戸内海型の気候を呈している。

地域内の年間の平均気温は、15.8 である（神戸海洋气象台、昭和41年～平成12年の平均）。降水量は、年間1,300mm前後と少なく、降雨は6月、7月の梅雨期と9月の台風の時期に集中し、他の季節は晴天が多い。風向は、六甲山地の影響を受け、中央部では東西系の風が多く、東部では、夏期は西系の風が、冬期は北系の風が卓越し、西部では、夏期は南及び北東の風が冬期は北系の風が卓越している。風速は、神戸市（神戸海洋气象台）で平年値の平均は、3.3m/秒となっている。

平均値の年間日照時間は、1,966時間前後である。

### 3 水 象

#### (1) 河川

当地域を流れる主要水系は、1級水系として淀川（猪名川・神崎川）、加古川及び揖保川、2級水系は、武庫川、明石川、喜瀬川、市川、夢前川等がある。

猪名川は、川辺郡猪名川町の大野山付近に源を發し、武庫低地を経て尼崎市内で神崎川に合流して大阪湾に注ぐ全長約39kmの河川である。

加古川は、丹波地方にその源を發し、播但山地、東播丘陵に扇状地性低地を形成して加古川市に至り、最下流の高砂市付近で三角州低地や砂州を形成して播磨灘に注ぐ全長約87kmの県下最長の河川である。

揖保川は、宍粟郡藤無山に源を發し、県下最高峰の氷ノ山から發した引原川と合流し、西播磨山地に狭長な谷底平野を形成して龍野市に至り、さらに林田川と合流し、三角州低地を形成して播磨灘に注いでいる。

#### (2) 湖沼

当地域の千苅水源池は、武庫川支流の羽束川をせき止めた人工貯水池で、有効水

深27.4m、有効貯水量 1,161万m<sup>3</sup>、湛水面積1.12km<sup>2</sup>あり、神戸市の上水源として利用されている。

### (3) 海域

当地域が面する瀬戸内海は、明石海峡により、その東側は大阪湾に、西側は播磨灘に分かれており、外海との水の交換に時間がかかり、水質汚濁物質が蓄積しやすい閉鎖性水域となっている。潮流は、明石海峡で最大流速6ノットにも及んでいるが、大阪湾奥部及び播磨灘では全体に緩やかである。

## 4 動植物等

### (1) 動物

環境省発表のレッドリスト(「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」(平成9～12年度))等に選定されている動物のうち、当地域に生息しているものは、オオサンショウウオ、タガメ、ギフチョウ、オオムラサキ等である。

### (2) 植物

環境省発表のレッドデータブック(「日本の絶滅のおそれのある野生生物」(平成12年度))に選定されている植物のうち、当地域に生育しているものは、オニバス、ガガブタ、アサザ等である。

### (3) 鳥獣

環境省発表の鳥類レッドリスト(「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」(平成10年度))等に選定されている鳥獣のうち、当地域に生息しているものは、ミゾゴイ、チュウサギ、ミサゴ、オオタカ及びハイタカ等である。

## 第2節 人口

国勢調査(平成12年10月1日現在)の結果による平成12年の当地域の人口は、4,208千人であり、これは、県全体の約76%を占めている。平成7年の国勢調査結果とに比較すると約15万人増加しているが、阪神・淡路大震災により神戸市、西宮市、芦屋市等で被災により転出した人口が回復したことによる影響が大きい。

一方、当地域の人口密度は、平成12年10月1日現在で、2,996人/km<sup>2</sup>である。

また、平成12年のD I D(人口集中地区)人口は、3,816千人、D I D面積は、500km<sup>2</sup>であり、地域全体の約36%を占める人口集中地区に地域内の約91%の人々が生活している。

## 第3節 産業

### 1 概要

当地域の就業者数は、平成12年10月1日現在1,943千人であり、産業別では第1次産業が15千人(0.8%)、第2次産業が550千人(28.3%)、第3次産業が1,334千人(68.7%)となっている。

純生産は、平成11年度においては、108,778億円であり、産業別では第1次産業184億円(0.2%)、第2次産業が34,411億円(31.6%)、第3次産業が79,221億円(72.8%)となっている。

### 2 工業

当地域は、臨海部を中心に鉄鋼業、化学工業、石油製品製造業等の素材型産業や、一般機械器具製造業、電機機械器具製造業等の装置産業が主に立地し、さらに古くからの酒造業等の産業が立地し、経済活動が活発に展開されている。

当地域の製造品出荷額等は、平成12年において99,519億円で平成8年の106,909億円に比べ、名目では0.93倍となっており、県全体に占める割合は、70.7%(平成8年73.3%)となっている。

また、業種別では、一般機械器具製造業が18,009億円(83.1%)、電気機械器具製造業が18,613億円(59.5%)、鉄鋼業が10,489億円(92.2%)となっている。

次に市町別では、神戸市が27,583億円(18.9%)で、次いで姫路市が19,006億円、尼崎市が18,319億円の順となっている。

### 3 農林水産業

#### (1) 農業

当地域は、加古川、市川、夢前川及び揖保川流域の肥沃な農用地を基盤に稲作を中心に農業生産が行われている。

当地域における平成12年の農家数は24,967戸(販売農家13,899戸)、農業就業人口(販売農家)は21,927人、耕地面積は13,232haである。平成7年に比べると農家数で14.5%(販売農家では12.5%)、農業就業人口(販売農家)で3.6%、耕地面積で12.2%減少している。

また、平成12年の販売農家の兼業農家率は85.4%で、兼業農家の90.6%は第2種兼業農家となっている。

しかし、当地域では温暖な気候と大消費地に近い立地条件を生かして都市化の進むなかで多様な生産が行われており、平成12年の農業生産額は、31,322百万円である。作物別では、野菜28.6%、米28.0%、花き11.3%、果物4.6%の順となっている。

なお、平成14年の家畜飼養頭羽数は、乳用牛4,825頭、肉用牛9,656頭、豚4,022頭、採卵鶏713千羽、ブロイラー4千羽である。

(注)プロイラーについては平成13年の数値である。

## (2) 林業

当地域の平成12年度末の森林面積は、49,784haで、森林比率は35%である。平成7年度末の森林面積と比較すると、439ha 減少している。

当地域の森林のほとんどは、神戸市北部の六甲山系を中心に、阪神地区の北部及び姫路、加古川両市の北部に位置し、都市地域周辺の貴重な森林資源として、災害の防止、都市住民の憩いの場の提供など、多様な機能を提供している。

これらの森林においては、森林の公益的機能をより高度に発揮させるため、森林整備事業や山腹崩壊防止等のための治山事業が行われている。

## (3) 水産業

当地域の漁業は、瀬戸内海を漁場とする小型底曳き網業、船曳き網業、一本釣り漁業及びのり養殖業を複合的に展開している。内水面では、武庫川、加古川、揖保川等で河川漁業が営まれている。

平成12年の海面漁業における生産量は、47,897トン、漁業経営体数は3,932となっており、平成7年に比べると生産量は40%減少、経営体数は6%減少している。のり養殖業は1,971百万枚(平成7年比1%減)となっている。

また、内水面の漁獲量は446トンとなっている。

(注1)海面漁業の漁獲量は兵庫県瀬戸内海全体の数値、内水面漁獲量は、猪名川、加古川、揖保川等を含む兵庫県全体の数値である。

(注2)平成7年は、アミエビ等が27千トン漁獲された特異年で、漁獲量が例年に比べて突出している。

## 4 商業

当地域の卸・小売業は、平成11年では、商店数42,398店、従業者数265千人、年間販売額は47,565億円で、平成9年からの伸びをみると商店数0.5%減、従業者数12.7%増、年間販売額2.4%減となっている。

## 5 サービス・観光業

当地域は、瀬戸内海に面し、六甲山系を中心とした瀬戸内海国立公園と4つの県立自然公園を擁し、自然環境に恵まれている。

また、世界遺産姫路城をはじめとする歴史的文化的施設や史跡、「灘のけんかまつり」、「神戸まつり」等の特色あるまつり、宝塚歌劇、有馬温泉等の温泉、キャンプ場、海水浴場、潮干狩りなどの多様な観光資源に恵まれている。

また、神戸市内には異人館、王子動物園、須磨離宮公園等の見所も多くある。平成12年度における主要観光地利用者推計人員は9,067万人である。

## 第4節 都市環境

### 1 土地利用

地目別の土地利用の状況は、平成12年10月現在、農用地が813km<sup>2</sup>(9.7%)、宅地が616km<sup>2</sup>(7.3%)、山林が5,633km<sup>2</sup>(67.1%)、道路が310km<sup>2</sup>(3.7%)、河川・水面・水路が316km<sup>2</sup>(3.8%)、その他が704km<sup>2</sup>(8.4%)となっている。

### 2 都市計画

当地域では全域が都市計画区域に指定されている。都市計画区域においては、計画的な市街化を図り、無秩序な市街化（スプロール現象）を防止するために市街化区域及び市街化調整区域の都市計画が決定されている。当地域の都市計画区域の面積は、平成12年度末現在142,926haであり、このうち市街化区域面積は59,975ha(42.0%)、市街化調整区域面積は82,951ha(58.0%)となっている。

なお、市街化区域における用途地域の割合は、住居系地域（第1種低層住居専用地域・第2種低層住居専用地域・第1種中高層住居専用地域・第2種中高層住居専用地域・第1種住居地域・第2種住居地域・準住居地域）は71.5%、商業系地域（近隣商業地域・商業地域）は5.9%、工業系地域（準工業地域・工業地域・工業専用地域）は22.6%の状況となっている。

なお、都市計画区域等の指定状況は、図2-4-1のとおりである。

### 3 都市施設等

#### (1) 上水道

当地域における平成13年度末の水道普及率は、99.90%（給水人口422万人）で県全体の水道普及率99.69%を上回っている。このうち、尼崎市、芦屋市、加古川市、播磨町は、100%の普及率である。

また、水道施設数は、上水道14、簡易水道26及び専用水道62である。

#### (2) 工業用水道

主な工業用水道は、県営の加古川、市川、揖保川第1及び揖保川第2の各工業用水道並びに神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市及び高砂市工業用水道の9系統で、平成14年7月末現在日量144万m<sup>3</sup>の給水能力があり、地域内の市町に給水している。

#### (3) 下水道

当地域の公共下水道の整備状況は、平成13年度末現在、神戸市をはじめ13市町において整備中で、人口4,194千人のうち、処理人口が3,940千人、処理面積48,519haとなっており、下水道人口普及率としては93.9%である。

流域下水道は、猪名川右岸流域下水道をはじめ4流域下水道が整備中であり、い

ずれの流域下水道も一部供用を開始している。

(4) 一般廃棄物処理施設

ア し尿処理施設

し尿処理施設は、平成12年度末現在5によって6施設（処理能力1,105kl / 日）が整備されている。

また、コミュニティ・プラントは、1市によって1施設（処理能力960m<sup>3</sup> / 日）が整備されている。

イ ごみ処理施設

ごみ処理施設は、平成12年度末現在10市1町2一部事務組合によって22施設（処理能力7,855t / 日）が整備され、3施設（処理能力1,106t / 日）が建設中である。

また、粗大ごみ処理施設やリサイクル施設は、11市2一部事務組合によって19施設（処理能力1,219.65t / 日）が整備され、1施設（処理能力30t / 日）が建設中である。

ウ 最終処分場

最終処分場は、平成12年度末現在6市によって8施設が整備されている。

(5) 産業廃棄物処理施設

当地域には、平成12年度末現在、産業廃棄物処理施設が955施設あり、その内訳は最終処分場が78施設、中間処理施設が877施設となっている。

中間処理施設のうち最も多いものは、汚泥の脱水施設で459施設で、次いで木くずまたはがれき類の破碎施設が113施設となっている。

最終処分場は、しゃ断型が2施設、安定型が49施設、管理型が27施設となっている。（公害防止地域外を含む。）

(6) 公園緑地等

ア 都市公園

当地域の公園緑地は、平成13年度末現在、4,122か所（面積4,187ha）設置されており、地域住民一人当たりの公園面積は約9.9m<sup>2</sup>で全国平均（平成12年度末現在）8.1m<sup>2</sup>/人に比べ高くなっている。

イ 港湾緑地

港湾緑地は、平成13年度末現在、神戸港11か所約42ha、姫路港10か所約14ha、尼崎西宮芦屋港6か所約35ha、東播磨港6か所約5haが整備されている。

(7) 文教施設

当地域における平成9年5月1日現在の文教施設は、1,561施設あり、その内訳は幼稚園519園、小学校464校、中学校255校、高等学校157校、高等専門学校2校、短期大学23校、大学31校、専修学校87校、特殊教育諸学校23校で総幼児・児童

・生徒・学生数は、744,576 人である。

#### (8) 社会福祉施設

当地域における平成14年3月31日現在の社会福祉施設は、児童福祉施設（乳児院、保育所、養護施設、知的障害児施設、児童館等）1,113施設、老人福祉施設（養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、老人福祉センター、老人憩の家等）1,182施設、身体障害者福祉施設（身体障害者授産施設等）67施設、知的障害者援護施設（知的障害者更生施設等）138施設となっている。

### 4 交通運輸

#### (1) 道路

当地域の道路網は、中央自動車道西宮線（名神高速道路）などの高規格幹線道路や阪神高速道路、国道2号をはじめとする一般国道、そして主要地方道が骨格となり、これを補完する一般県道や市町道により構成される。

#### (2) 飛行場

大阪国際空港は、近畿圏の空の玄関として重要な機能を果たしており、定期旅客便が31路線に日270便が運航されている（平成14年8月現在）。平成13年の利用旅客数は1,688万人となっている。

#### (3) 鉄道

当地域の鉄道網は、西日本旅客鉄道㈱の山陽新幹線を軸として、東海道本線、山陽本線、平成9年3月に開業した東西線、阪神電気鉄道㈱、阪急電鉄㈱の神戸線、山陽電気鉄道㈱等が東西に、西日本旅客鉄道㈱の福知山線、加古川線、神戸電鉄㈱、北神急行電鉄㈱等が南北に伸びている。

また、神戸市内には地下鉄が整備されているほか、人工島であるポートアイランドや六甲アイランドと市街地を結ぶ新交通が運行している。

一方、当地域の西の中心都市である姫路からは、西日本旅客鉄道㈱の播但線、姫新線が北部及び北西部に伸びている。

#### (4) 港湾

当地域には、特定重要港湾の神戸港及び姫路港、重要港湾の尼崎西宮芦屋港及び東播磨港、その他に地方港湾等がある。

神戸港は、大阪湾の奥部に位置し、我が国における代表的な国際港湾として、内外の経済に大きく貢献しており、また、港湾環境整備施設の整備も積極的に進められている。姫路港は、播磨灘に面し、播磨工業地域の流通拠点として地域経済の発展に寄与している。

平成12年の当地域の貨物取扱量は、22,834万トン、入港船舶数は339,902隻(34,254万総トン)となっており、そのうち内神戸港分は貨物取扱量8,464万トン、入港船舶数は46,570隻(19,662万総トン)、姫路港分は貨物取扱量3,865万トン、入港船舶数は33,969隻(3,048万総トン)となっている。